

F-REIの最近の動き (2024年6月,7月)

福島国際研究教育機構

Fukushima Institute for Research, Education and Innovation (F-REI)

F-REIのWebサイトに掲載されている「F-REIの最近の動き
(2024年4月～)」から2024年6月分,7月分を浪江町役場で
抜粋しております。詳細はF-REIのWebサイトをご覧ください。
(<http://www.f-rei.go.jp/>)

令和6年6月7日（金） 学校法人昌平黌（東日本国際大学など）と基本合意書を締結

6月7日、学校法人昌平黌（東日本国際大学など）とF-REIとの連携協力に関する基本合意書を締結しました。

今後、この基本合意書に沿って、包括的な連携協力を進め、双方の資源を有効に用いるなど互恵的な連携協力を進めていきます。

また、当日は記念イベントとして、東日本国際大学生による報告会と、F-REI理事長講演会を開催しました。



令和6年6月10日（月）～11日（火） F-REIトップセミナーの開催（福島工業高等専門学校）

6月10日、11日、トップセミナーを福島工業高等専門学校で開催しました。

森下監事が講師を務め、1日目は演題を「建築構造の振動制御研究」とし、電気電子システム工学科、都市システム工学科3年生約80名を対象に行いました。2日目は演題を「ロボットの知能化～ChatGPT」とし、機械システム工学科、化学・バイオ工学科、ビジネスコミュニケーション学科3年生約120名を対象に行いました。

森下監事は、これまでご自身が携わってきた研究内容を紹介し、研究の楽しさを伝えるとともに、「今回の受講生の中からF-REIに加える研究者が出てくることを楽しみにしている。特定分野での最先端研究を進めて、一緒に福島復興を後押ししましょう。」と生徒へメッセージを送っていました。



令和6年6月14日（金） 福島県と福島ロボットテストフィールドの統合に関する 基本合意書を締結

6月14日、福島県と福島ロボットテストフィールドの統合に関する基本合意書を締結しました。

本統合は、RTFのこれまでの機能及び成果をF-REIが継承するとともに、ロボット分野を中心とするF-REIの研究開発、産業化、人材育成に関する機能をRTFに付加することにより、RTFの更なる発展・活用を目指すために行われるものです（統合期日：令和7年4月1日）。



令和6年6月14日（金） 福島イノベーション・コースト構想推進機構、福島県と 包括連携協定を締結

6月14日、F-REI、公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構、福島県の3者が包括連携協定を締結しました。

今後、この包括連携協定に沿って、互恵的な連携協力を進めていきます。



令和6年6月19日（水） F-REIトップセミナーの開催（福島県立医科大学）

6月19日、トップセミナーを福島県立医科大学で開催しました。

大和田執行役が講師を務め、演題を「私の研究とF-REI（エフレイ）」とし、医学部3年生約140名を対象に行いました。

大和田執行役は、ご自身の研究テーマ（脂質摂取と神経疾患の関連）の紹介やF-REIで進めている研究課題を説明し、「医学の進歩は研究とイノベーションによって生まれる」「是非F-REIの研究者を目指してほしい」と学生に話されました。



令和6年7月2日（火） 第2回広域連携ワーキンググループの開催

7月2日、第2回広域連携ワーキンググループ（WG）を広野町で開催いたしました。

WGには、復興庁、福島県、浜通り地域等15市町村、福島イノベーション・コースト構想推進機構が参加し、会議では、F-REIから研究開発の進捗状況、産業化、人材育成等の取組を報告、福島県及びF-REIから市町村座談会について報告、各構成員から広域連携に関する取組について説明等があった後、意見交換を行いました。



令和6年7月8日（月） 福島県、JAEA、NIESと基本協定及び実施協定を締結

7月8日、福島県、JAEA、NIESと環境創造センターにおける連携協力に関する基本協定及び実施協定を締結しました。

本協定は、F-REI基本構想^{（令和4年3月29日復興推進会議決定）}において、放射性物質の環境動態研究の一体的・総合的推進を図る観点から、JAEAとNIESとが三春施設において行っている環境動態研究をF-REIに統合するとされていたことに関する協定であり、4者が密接な連携の下で各機関の人材、知見等を活用することにより、環境創造センターにおける福島県の環境回復及び環境創造への取組を推進することを目的としています（統合期日：令和7年4月1日）。



令和6年7月10日（水） 出前講義の実施（福島県立医科大学）

7月10日、福島県立医科大学の医学部1年生（韓国からの留学生を含む）133名に出前講義（会場：双葉町産業交流センター）を実施しました。

江村理事が講師を務め、演題を「福島の創造的復興を目指して ～F-REIの取り組みと福島県立医大医学部の皆さんへの期待～」として講義しました。

江村理事から「学び続けることで役立つ人材であり続けてほしい。将来さらに成長した皆さんにお目にかかるのを楽しみにしています！」と学生にエールを送りました。

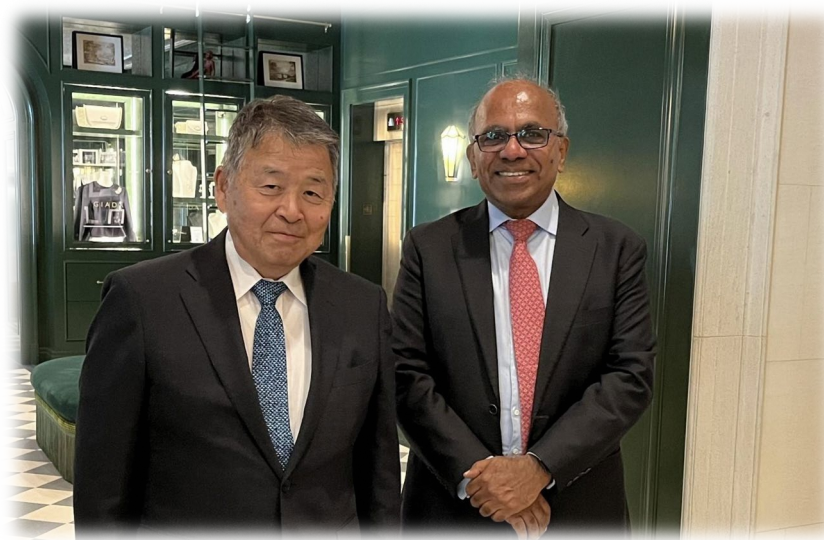


令和6年7月10日（水） 国際アドバイザーとの意見交換を実施

7月10日、山崎理事長は、米国に拠点を置くF-REI国際アドバイザーのスブラ・スレッシュ博士を訪問しました。

山崎理事長からスレッシュ博士に対しF-REIの事業を説明し、理解を深めていただくとともに、F-REIを国際的な研究拠点にするための方途等について意見交換を実施しました。また、山崎理事長からスレッシュ博士に、今後の継続的な協力をお願いしました。

F-REIは引き続き国際アドバイザーから適切な助言を得つつ、国際化に向けた取り組みを進めてまいります。



令和6年7月18日（木） F-REI市町村座談会の開催（県中地域）

7月18日、F-REI市町村座談会（県中地域）を郡山市で開催しました。

本座談会は、6月14日に締結した「福島国際研究教育機構、福島イノベ構想推進機構及び福島県による包括連携協定」に基づき、福島県主催の「イノベ構想参画促進セミナー」と合同で開催したものです。座談会では、山崎理事長から「F-REIの創造的復興への挑戦」テーマに講演を行った後、県中地域の市町村、企業・団体等を代表する方々から「科学技術や産業で考える、ふくしま（県中地域）の未来」のテーマのもと多くの貴重なご意見をいただきました。

また、翌日の7月19日は、デンソー福島（株）、ふくしま医療機器開発支援センター及び福島県林業研究センターを訪問し、視察及び意見交換を行いました。



令和6年7月23日（火） QSTと連携協力協定を締結

7月23日、国立研究開発法人量子科学技術
研究開発機構（QST）とF-REIは連携協力に
関する包括協定を締結しました。

今後、この協定に基づいて、互恵的な連携協力
を進めていきます。



令和6年7月23日（火） 第3回アドバイザリーボードの開催

7月23日、今年度最初の開催となる第3回アドバイザリーボードを開催いたしました。

アドバイザリーボードには、石村和彦 産業総合技術研究所理事長（オンライン）、永田恭介 筑波大学長、原山優子 東北大学名誉教授、山名元 原子力損害賠償・廃炉等支援機構理事長のアドバイザー4名と山崎理事長をはじめ、役員、執行役、分野長、副分野長等が出席しました。

初めに、F-REIに関する最近の動向等についてご説明を行ったのち、研究5分野の方針等についてアドバイザーとの活発な意見交換を通じて有意義なご助言をいただきました。



令和6年7月25日（木）～26日（金） 国際アドバイザーとの意見交換を実施

7月25日、26日、国際アドバイザーのフィオナ・レイモン博士が来日し、F-REI本部で意見交換を行いました。

F-REI側からレイモン博士に対し、直近のF-REIの活動状況を説明し理解を深めていただくとともに、レイモン博士からは、英国における原子力分野での研究の状況やジェンダーバランスの実現の重要性等を講演いただきました。その後F-REIを国際的な研究拠点にするための方途等について活発な意見交換が行われました。

また、レイモン博士に福島ロボットテストフィールド、福島水素エネルギー研究フィールド等を視察いただき、地域に対する理解を深めていただきました。



**世界に冠たる
「創造的復興の中核拠点」へ**